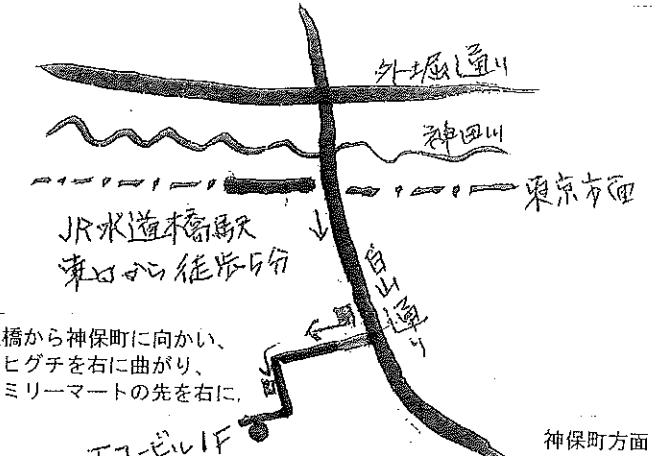


*20回 Commemoration



文化賞

第20回女性文化賞記念の集い
会費 2500円

於 千代田区三崎町 2-2-12 エコービル 1f
梨の木舎・あめにてい cafe
電話番号 03-6256-9517

定員 30名 お申し込みください

2017.1.27 18:30 ~ giving and receiving

創設者 高良留美子さんから受賞者 森川万智子さんへ

performance

朗読 桐谷夏子 (6月黒色ネット)

ムンイグチユ
文玉珠ビルの戦線橋師団
慰安婦だった私

うた おおたか静流

高良留美子さんへ感謝の言葉

詩人のあなたは、四半世紀以前から基金の創設を考えていました
たが、一九九七年、手作りの女性文化賞をつくりました。

女性の文化創造者は、無視や偏見といった見えない壁に囲まれて、経済的にも苦労しつつ創作を続けていた状況です。あなた自身、そのことを強く感じてきたためこの賞をつくりました。そしてあなたは、自身で歩いて女性の文化創造者を探しました。人様による推薦という形をとりながら、つねにマイナリティに注目していました。

対象としたのは、文学を中心に文化一般、ジャンルを問わず、個人も団体も、国籍も問わないというものでした。また、対象は作品ではなく「人」でした。

当初、この賞は少なくとも十年続ける計画でしたが、今回の二十回をもって最終回を迎えるました。

本日ここに、その志を女性の歴史に刻印すると同時に、姉妹の精神を二十年にわたって發揮してくださったことに心から感謝します。

ありがとうございました。

二〇一七年一月二十七日

「第二十回女性文化賞記念の集い」参加者一同

森冬実文